

県立高校の旬な情報を毎月お届けします。マナーアップ通信、部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなど各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひ御活用ください。

12月号の目次

1 特色ある取組

- (1) 名取高校
- (2) 仙台東高校
- (3) 仙台第三高校
- (4) 宮城第一高校
- (5) 富谷高校
- (6) 加美農業高校
- (7) 古川工業高校
- (8) 鹿島台商業高校
- (9) 登米高校

- (10) 登米総合産業高校
- (11) 迫桜高校
- (12) 石巻好文館高校
- (13) 石巻西高校
- (14) 志津川高校
- (15) 田尻さくら高校

2 学校紹介

- (1) 蔵王高校
- (2) 松山高校
- (3) 柴田高校
- (4) 角田高校
- (5) 古川高校
- (6) 古川黎明高校
- (7) 石巻工業高校
- (8) 気仙沼向洋高校
- (9) 東松島高校

3 コラム

- (1) 白石高校

4 お知らせ

- (1) 県工業高校
- (2) 一迫商業高校

1 特色ある取組

(1) 名取高校<「親になるための教育推進事業」現代の子育てについて学ぶ>

家政科2年生が10月23日(金)「子どもの発達と保育」の授業で、講師の佐藤徳美さんと石垣政裕さんから現代の子育てについてのお話をいただきました。

佐藤徳美さんのお孫さんが当日の朝誕生した、といううれしい報告から始まり、核家族化が進み、身近な家族から子育てについて学ぶ機会が減少している現代において、地域の子育て支援が不可欠であるというお話や、どのような支援やサービスが存在するのかを紹介していただきました。

また、石垣政裕さんからは、『「チーム力」で子育てだ!』と題し、子育てはチームで行うという考え方を学ぶことができました。それぞれが独自のスキルを持っていることで、+αの効果が期待できること、責任が平等であることなど、チームとグループの違いを丁寧に教えていただきながら、皆で子育てをしていくことについて学びました。父親の子育てへの関わり方についても、経験をもとに話していただき、大変勉強になりました。

今回の学びを通して、保育分野への関心がより一層高まり、将来の自分の姿を思い描きながら、学んでいけると実感できました。



(2) 仙台東高校 <Let's enjoy "EAST high school life" together!>

本校は普通科・英語科の2つの学科を有する学校です。「英語科」があることから、英語教育をはじめ、国際理解教育、国際交流、留学生の受入などに積極的に取り組む学校として有名です。校訓は Enterprise (進取創造), Autonomy (自主自律), Sincerity (誠実協和), Toughness (強健不撓), 4つ頭文字を並べるとEAST (東) になります。

国際理解教育では Global Week と称し、一週間に国際理解に関する様々なイベントを開催しています。今年度は11月9日～13日の5日間、国際講演会・オンライン海外交流会・SDGsワークショップなどを実施しました。国際交流では例年、12月に海外修学旅行(2年英語科)、夏休みにベラルーシ友好派遣団への参加、3月にオーストラリア・ニュージーランド方面へ10日間の海外研修を実施しています。今年度の海外研修はコロナ禍の影響によりオンライン交流を予定しています。東高生は「明るく楽しく元気よく、そしてグローバルに！」をモットーに毎日“Enjoy EAST!”しています。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://higasi-h.myswan.ed.jp/>

(3) 仙台第三高校 <三高探究の日～グローバルサイエンス (GS) フェスタ～>

令和2年11月7日(土)、仙台第三高校を会場に「三高探究の日～GSフェスタ～」が開催されました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、例年のスタイルを変更して実施しました。本校理数科の課題研究、普通科の探究活動、自然科学部の研究活動については校内ポスター発表を行いました。また、発表内容は事前に動画を収録し、WEB上で閲覧できるようにしました。県内のスーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定校及び、プログラム指定校の各校には、WEB発表会という形式で参加していただきました。古川黎明中学校・高等学校、多賀城高等学校、気仙沼高等学校の研究班には本校理数科とのZoomセッションに参加いただき、それぞれの研究について活発な意見交換が行われ、講師の先生方からも指導助言をいただきました。また、本校理数科の課題研究班は、英語による研究発表も行いました。Zoomを利用して、東北大学の留学生の方々や県内のALTの方々、国際交流員の方々に参加していただき、質疑応答も英語で行いました。

今回のGSフェスタでは、発表についての感想や質問のコメントもWEB上に入力していただきました。いただいたコメントに返信をするなど、新たな交流を生むこともできました。



参加者数概要(のべ)

分類	Zoomセッション		ポスター		WEB		
	題数	人数	題数	人数	題数	人数	
中学校	1	8			3	5	
SSH校など	5	27			11	56	
高校	課題研究	19	79	19	79	19	79
	部活等	2	8	9	36	0	0
	探究	1	6	51	240	51	240
計	28	128	79	355	84	380	

< 学校のホームページはこちらです >
<https://sengan.myswan.ed.jp/>

（４）宮城第一高校＜特色ある理数科行事，開催中！＞

宮城一高理数科は、普通科に比べ数学・理科の単位数が多く、少人数授業も取り入れるなどして質の高い学習を行っています。さらに自然科学に対する視野を広げる特色ある行事も多く、生徒の学習意欲を高め進路意識の向上にもつながっています。今年は、4～5月は休校となりましたが、6月以降は様々な制限もある中で工夫しながら行事を実施してきました。10月には、2年生を対象に、「ミヤイチ☆キャンパスⅡ」と題して大学で専門的な研究をしている先生による“出前講義”を行いました。情報工学分野では“AI研究の第一人者”である東北大学大学院情報科学研究科の乾健太郎先生から人工知能研究の最先端について、生命科学分野では同生命科学研究科の小金澤雅之先生から生物の神経回路の機能と行動発現との関係について、それぞれ高度で興味深い講義をお聞きしました。同じく10月に1，2年次「施設見学会」を行い、県内の研究施設を訪問して実際に研究機器に触れたり研究者の方のお話を聞いたりしました。さらに1年は地学（気象）分野，2年は数学（情報）分野の「理数科講演会」も開催しました。

このようにミヤイチ理数科では自然科学への関心を高める体験型の行事が盛りだくさんです。このような特色ある学習活動については本校のホームページでも紹介していますのでぜひご覧ください。



＜ 学校のホームページはこちらです ＞
<https://miyaichi.myswan.ed.jp/>

（５）富谷高校＜課題研究基本講演会＞

富谷高校では、2学年の総合的な探究の時間（通称：T-time）においてSDGs 課題研究を行っています。今年度は課題研究の共通テーマとして「まちづくり」を設定して研究を進めるために、地域の諸課題について学ぶ機会を設けています。10月8日に4つのテーマ（「養蜂事業と環境」「水素実証事業」「郷土の歴史～開宿400年～」「子供の貧困～こども食堂～」）で4名の方を本校にお招きし、地域の課題に対して現場の方々がどのように対応し解決しているのかについて講演していただきました。

富谷高校は、今後もこのような活動を通して、生徒の主体的に地域の問題解決に取り組もうとする姿勢を養い、地域社会に貢献できる人材を育てていきます。



＜ 学校のホームページはこちらです ＞
<https://tomiya-h.myswan.ed.jp/>

（6）加美農業高校＜120周年記念式典＞

本校は農業科，農業機械科，生活技術科の3つの学科があり，更に7つの部門（作物・畜産・草花・野菜・果樹・生物バイオ・農業機械）に分かれて学習しています。運動部及び文化部の活動も盛んです。

11月13日は創立120周年を記念した式典が催されました。本校は明治33年，地域産業振興の加美郡蚕業学校として開校しました。大正11年に宮城県加美農蚕学校，昭和23年には宮城県加美農業高校と改称し，素晴らしい先輩方を卒業生として社会に送り出してきました。

相撲部は幾度もインターハイに出場してきました。学校農業クラブ活動では，プロジェクト発表における全国最優秀賞獲得を筆頭に，様々な競技において全国大会で好成績を収めています。

昨年度は「私のしごと」作文コンクールにおいて文部科学大臣賞を受賞したほか，今年度は全国高等学校総合文化祭弁論部門への出場権を得るなど，文化活動も非常に盛んです。

このような数々の栄光は，本校生徒の努力はもとより，これまでの120年にわたる輝かしい伝統あつてのことで。みなさんとこの学び舎で一緒に学べる時を，一同心よりお待ちしております。

学校のウェブサイトでは日々の活動の様子について，公開しています。是非ご覧になってください。

＜ 学校のホームページはこちらです ＞
<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>



（7）古川工業高校＜機械科職場見学会について＞

例年，本校の機械科では，7月初旬，全学年において職場見学会を実施しています。

更に，機械科2学年においては，7月中旬に職場見学会を設け，20を超える協力企業の中から2企業選択して見学し，その後，見学先企業の方々もお招きして職場見学発表会を行っています。

普段の学校生活では体験することのできない，ものづくり現場の一端に触れるとともに，企業の方々から直接アドバイスを頂くことができ，進路選択の一助として大変有意義な見学会となっています。

【参加生徒の声】

☞ 実際にウレタンを化学反応で膨らませるところを見学しました。あっという間にコップを埋め尽くす様は，とても興味深くおもしろかったです。

☞ 社内がとても整っており，社内で5Sが行き渡っていることがとても印象に残りました。

☞ 食品を作っている所なので，作業着を着て髪などが落ちないように衛生面に気をつけていました。

☞ 形跡管理というものを行っていて，どこに何を置くかというのを線で決め，無駄なスペースができないように徹底されていました。

☞ 到着したとき，従業員の方たちが店内や外の窓などを掃除していました。それを見て思った事は，綺麗にするという心を持つことは，仕事をするにあたって大変大切なことだと思いました。



※令和2年度は，新型コロナウイルス感染症予防のため，職場見学会を中止致しました。

＜ 学校のホームページはこちらです ＞
<https://furukk-h.myswan.ed.jp/>

（８）鹿島台商業高校＜駅からハイキング＞

JR 東日本が企画する「駅からハイキング」の1コースとして本校生徒が考案した鹿島台駅発着のハイキングコースを案内しました。関東や東北から14名に参加していただき鹿島台小学校の校門や鎌田三之助展示室、デリシャストマトを栽培しているデリシャスファームカフェ、鹿島台神社等を生徒が説明しながら地域の歴史や文化を紹介し、鹿島台の魅力をPRしました。生徒はこの日のために学校設定科目「地域ビジネスプランニング」の授業でしっかり準備をしてきました。「自分たちのペースで案内できたと思う。コース設定で鹿島台について調べたが、鎌田三之助が特に勉強になった」（3年佐々木恒輔君）

＜ 学校のホームページはこちらです ＞
<https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/>



（９）登米高校＜登米小学校での読み聞かせ活動＞

本校生徒が読み手となり、絵本や紙芝居を小学生に読み聞かせする活動です。対象は敷地続きにある登米市立登米小学校の1・2年生です。今年9年目を迎える本活動は、家庭科「発達と保育」の受講者や、保育やボランティアに関心を持つ生徒、図書委員などが参加し、昨年度は29名で8回の訪問活動を行いました。登米市立登米図書館から選書のアドバイスをいただくこと、団体貸し出しの制度で絵本や紙芝居を借りられることも、本活動の大きな支えになっています。

今年度も昨年度同様にと計画をしていましたが、感染症の拡大防止のため10月からのスタートとなりました。参加者は、保育や福祉関係の進路を意識している生徒、本は好きでも人前で話すのが苦手な生徒など様々です。しかし、児童との関わりを通して、進路に向けた手ごたえや新たな読書の楽しみ、自信などを感じることでできる取り組みです。11月は中止、12月以降の開催については検討中となっていますが、協力機関が近い地の利と、小学校の「朝の読書タイム」を活用させていただきながら、来年度以降も継続したいと考えています。

＜ 学校のホームページはこちらです ＞
<https://tome-h.myswan.ed.jp/>



(10) 登米総合産業高校<福祉科! プロフェッショナルへの道>

本校福祉科は、県内公立高校で唯一の福祉学科で、生徒は3年間で国家資格である介護福祉士の取得を目指しています。本来であれば、校外福祉施設で実習を行い、知識や技術、経験を積むのですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により校外実習を断念せざるを得ませんでした。

代わりに、地域の施設に御協力いただき、リモートでの講義や施設見学、施設職員の方を学校に招いて実技指導をいただき、実習代替授業として実施しています。実際に現場で働くプロの視点、言葉、動作は、生徒にとって大きな刺激となり、介護・福祉について理解を深める貴重な学びの場となっています。

福祉科の生徒達は、一人ひとりが介護・福祉のプロフェッショナルとなるべく、国家試験合格、進路達成に向け、日々頑張っています。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://tomesou.myswan.ed.jp/>

(11) 迫桜高校<シクラメン販売会>

11月28日(土)、本校農場にて、シクラメンの販売が行われました。アグリビジネス系列の生徒が丹誠込めて育てた花は、毎年人気です。今年もコロナ禍にもかかわらず、販売開始の1時間以上前から、売り場の前に行列ができる盛況ぶり。訪れた方は、色とりどり、種類もあれこれある中から、気に入ったものを、先を争うように選んで、2鉢、3鉢と購入していました。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(12) 石巻好文館高校<総合的な探究の時間～甲斐あるひとといわれたいむ～>

石巻好文館高等学校では、その校是『甲斐ある人と言われなむ』（真心をもって世のため人のために 尽くす人になるように 日々努力する）を実現するために、総合的な探究の時間を、「甲斐あるひとといわれたいむ」と銘打ち、様々な取組を行っています。

先日、魅力ある県立高校づくり事業を活用して、1年生対象に「社会人講話」を実施しました。本校卒業生を含めた8人の社会人の方々をお招きして、どのようにしてその仕事に就いたのか、仕事のやりがいや苦労はどのようなものなのか、学校の授業では学べない貴重なお話を伺うことができました。

生徒から「たくさんの辛いことに立ち向かって乗り越えてきて今幸せだと言えて、とても人として強いと感じました」、「喜んでくれる人がいるから応えたい」、「自分も人と向き合い、自分を磨くことができるような仕事がしたい」など、大変前向きな感想を得ることができました。この講話で学んだことは必ずや今後の高校生活、そしてその後の甲斐あるひととして生きる道に役立つものと確信しています。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://koubunkan.myswan.ed.jp/>

(13) 石巻西高校<主体的に学び、自らの考えを表現するために>

本校は、昨年度から県内で唯一、文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定を受け、社会人インタビュー、地域理解講座、課題探究型フィールドワーク（インターンシップ）などに加え、地域課題を理解し解決に向けて探究するSDGs地域課題研究に取り組みながら「震災を乗り越え持続可能な未来を創造する人材」を育てています。

また、協働を生む「多様性の土壌」（個の尊重）や挑戦の連鎖を生む「安心・安全の土壌」（失敗の許容）などの「学びの土壌づくり」とおして、対話力・共感力・合意形成力を身に付け、地域・社会貢献意欲あふれる将来の地域のリーダーとなる人物の育成を推進しています。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://inisi.myswan.ed.jp/>

(14) 志津川高校<いいとこどり!「南三陸パック」>

志津川高等学校情報ビジネス科2年生では毎年、「電子商取引」という授業の活動で、地元・南三陸町の特産品いくつかをひとつの「パック」にしてインターネット販売の実習をしています。北海道から九州まで多くのリピーターの方がおり、昨年度は122セット販売をしました。第8弾となる今回の南三陸パックでは、町内で製造・販売されている特産品の中から、ごはんのおかず・おつまみ・お菓子を選んでパックにしようと考えました。現在は、商品内容選定やパック名の検討、付属品(おまけ)の考案など、2月の販売に向けて活動をしています。まだまだ考えることや決めなくてはならないことが多く、課題は山積みです。やることがたくさんありますが、生徒は、自分たちで考える楽しさを堪能しているような気がします。ネット通販を含む「商売」全般の難しさも学びながら、今年も喜んでいただけるパックをお届けできるよう頑張ります!学校の関連ホームページはこちらです。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://sizugawa-hs.myswan.ed.jp/>

(15) 田尻さくら高校<特色ある取組: さくらスポーツ祭>

11月5日(木)、「第4回さくらスポーツ祭」を開催しました。コロナ禍での実施ということもあり、例年とは競技種目を変更した形で、かつ感染予防に十分注意しながらおこないました。

今年度はバドミントンと卓球の個人戦で、全員がそれぞれに出場し、汗を流しました。参加した生徒たちは、日頃の練習の成果を十分に発揮し、一生懸命競技に取り組んでいました。試合の合間には、先生方同士の試合があり、熱戦を繰り広げる先生方に声援をおくる生徒たちの姿がとても印象的でした。

生徒たちにも先生方にも、たくさんの笑顔があふれた、とても充実した1日となりました。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://tajiri-hs.myswan.ed.jp/>

2 学校紹介

(1) 蔵王高校<「福祉」の授業が充実～「介護職員初任者研修」の資格取得を目指して！>

蔵王高校では、高齢化社会に対応し、地域に貢献できる人材の育成を目指して、2年生から選択科目として「福祉」の授業を設定しています。2、3年生で介護職員初任者研修の科目を学び修了試験に合格すると資格を取得することができます。平成29年度卒業生では9人、平成30年度は8人、令和元年度は8名が修了し、それぞれが資格を生かして福祉施設などに就職をしました。授業で基礎的な生活支援技術を学び、夏休みには、施設実習や訪問介護の同行実習を体験します。実際の介護の現場で得られる学びは、貴重な財産です。



蔵王高校では進学、就職等のあらゆる生徒のニーズに応えるためのカリキュラムを用意しています。さらに、少人数であればこそ一人一人に対して丁寧な指導をすることが可能です。落ち着いた環境の中で、優しい先輩たちや級友たちと一緒に、あなたも学んでみませんか。

< 学校のホームページはこちらです >
<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

(2) 松山高校<令和2年度 第41回松高祭>

10月30日(金)・31日(土)、コロナウィルスの影響で例年とは違った松高祭を開催しました。芸術鑑賞会・ダンスやファッションショーなどのステージ発表・全校制作のコスモスロード・文化祭レターライブ・クラス制作のバナー・クラス企画の「松山縁日」など盛りだくさんでした。調理販売やPTAの参加もなく校内発表のみとなりましたが、全校制作・校内公開・クラス企画・文化部展示など、生徒のほとんど(文化祭後アンケートでどの項目も95%超)が楽しんだと回答しています。



授業の一コマ

○2年生被服コース

着物着付け講習では自分で作った浴衣を自分で着られるように、帯は「一文字・蝶結び・文庫・片花文庫」の4つの結び方を習いました。

○保育コース

(松山子育て支援総合施設での運動会) 競技の準備・片付けや、等賞係など自分たちの役割をしっかりと果たしました。

○インターンシップ

企業の社員食堂(松山 一ノ蔵)の献立を生徒たちが考えました。スープとソースを工夫して調理した、デザート付き昼食45食は大好評でした。

< 学校のホームページはこちらです >
<https://matuyama-h.myswan.ed.jp/>

(3) 柴田高校<文化部の活躍>

●文化部の活動紹介

現在、柴田高校では音楽（吹奏楽・軽音楽）・家庭・美術・演劇・囲碁将棋・書道・茶華道・サイエンスの9つの文化部が活動しています。今年度は書道部が特選入賞するなどの活躍を見せています。そのほか、例年には吹奏楽部による高齢者施設での演奏会を実施していたほか、文化祭時には家庭部による手芸品の製作などにも力を入れて活動しています。

柴田高校は運動部のイメージがあるかもしれませんが、文化部も精力的に活動しています。

みなさんも柴田高校であなたの夢を実現してみませんか。

< 学校のホームページはこちらです >
<https://sibata.myswan.ed.jp/>



特選



(4) 角田高校<外部講師活用による校内研修>

11月19日（木）に教授法創造研究所代表の椿原正和先生をお招きし、実際に高校2年生 37名に授業をしていただきました。椿原先生は、元々は熊本県の小学校の教員をしていたのですが、PISAにおける日本の子どもたちの国語の読解力の低さに危機感を持ち、定年前に退職されて、全国を回って国語の「基礎的読解力」指導法を広めて子どもたちの読解力向上に努めておられます。今回の講義では、実際に大学入学共通テストのプレテストで出題された正答率が1%を下回る問題を、テンポよく順序立てて生徒たちに解かせてくださいました。生徒からは「現代文で、小説は比較的得意でしたが、評論は苦手です特に記述問題では頭を悩ませていました。今回の講義では、先生の話し方や教え方がとても分かりやすく、どこが大切か、今伝えたいことが何なのかスムーズに頭に入ってきました。現代文の授業でこんなに充実していて問題を解くことが楽しいと感じたのは初めてです。」などの感想が寄せられ、普段辛口の授業評価をする生徒からも大変好評でした。その後の教員研修でも「指導法を教えてくださいたいのはいつも生徒なのですよ」など明日からの授業をがんばろうと思わせる言葉をたくさんいただきました。



国語の記述式問題の解き方の解説



教員対象の研修

< 学校のホームページはこちらです >
<https://kakuko.myswan.ed.jp/>

(5) 古川高校<大学出前講座>

10月27日に毎年恒例の1・2年生を対象とした大学出前講座を実施しました。今年は新型コロナの影響で実施が危ぶまれましたが、各大学にご協力いただき、計画どおりに実施することができました。今年は9大学から14名の先生方をお招きし、午前と午後の2回、幅広い分野の講義が行われ、参加した生徒も皆熱心に受講していました。例年ならば各大学のオープンキャンパスに出向いて、直接大学の模擬講義を受講する機会がありましたが、今年はこの大学出前講座が最初という生徒がほとんどで、受講後の生徒の感想は概ね好評でした。今回最も受講希望生徒が多かった尚絅学院大学心理・教育学群の行場教授による「様々な錯覚現象から知る基礎心理学の面白さ」の講義では、「視覚が人の感覚に非常に大きな影響を与えることがわかり、人の感覚に関するより深い理解に繋がった。」、「聴覚や視覚によって起こる錯覚が、自分の身の回りでも起きていたことがとても面白いと思った。」などの感想がありました。また、東北大学工学部の福島教授による「科学技術のシステム化で気候変動に立ち向かう」の講義では、「地球規模の問題も必ず因果関係があり、私たちはその原因を改善していかなければならないのだと思った。」など、講義を受けて深く考えさせられたとの感想が多くありました。このように1・2年生は今後の進路志望先の決定に向けて大いに刺激を受け、有意義な行事となりました。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://furuko.myswan.ed.jp/>

(6) 古川黎明高校<学校紹介>

1. 部活動等

今年度はコロナウイルス感染拡大防止における措置等で活動に制限を受けながらも、各方面でめまぐるしい活躍を見せています。

陸上競技部では、福島唯花さん(2年)が女子100mハードルで県大会、東北大会とも優勝し、全国大会出場を決めました。

また、自然科学部では三野正太郎さん(3年)をはじめとする天文班が、JAXAと小惑星探査機「はやぶさ2」のカプセル再突入に係る共同研究契約を締結しました。パソコン部では、大崎市古川の小学生を対象にプログラミング出前授業を行い、地域貢献を行っています。その他各部活動で練習や活動に励み、数々の成績を残しています。

2. 課題研究

2期目のSSH指定を受け2年目となりましたが、昨年度の経験を生かし、さらなる取組をしています。ここ最近では、1年生は12月15日(火)に、世界農業遺産・大崎耕土に関する研究に役立てるためラムサール条約登録湿地の渡り鳥を観察する校外学習を行いました。2年生は、グループ毎にテーマを設定して課題研究に取り組み、11月12日(木)に中間発表会を行いました。今年度の研究発表会本番(黎明サイエンスフェスティバル)は、コロナウイルス感染拡大防止によりウェブ公開やZoomによる発表なども取り入れ2月上旬に行う予定ですが、それに向けて、更に充実した内容となるように研究を進めています。また、今年度からアドバンスコースが設置され、高度な課題研究や発展的な理数教育にも力を入れています。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://freimei-h.myswan.ed.jp/>

(7) 石巻工業高校

<《web 大賞 受賞》みやぎ建築未来賞～建築科課題研究 自由設計班～>

3年生で行う課題研究の授業は自由設計班、模型製作班、木工・工芸班、技能班の4つの班に分かれて活動を行っています。その中の自由設計班は、(一社)宮城県建築士事務所協会主催の「2020 みやぎ建築未来賞」に参加し、建築科3年の保原愛奈が宮城県建築士事務所協会所属の建築士によるweb投票で第一位となる「web大賞」を受賞いたしました。また、保原愛奈は同時に宮城県知事賞受賞することができました。

大賞を受賞した作品は「生きる～備えのある建築～ こもれびの輪」というテーマで設計した作品でした。この作品は増加する子供の孤食の問題に取り組み、こども食堂を通して、子供たちがよりよい未来を思い描けるような暮らしのための手助けとなるように設計しています。

[受賞者]

第26回 2020みやぎ建築未来賞「web大賞」 A3 保原 愛奈
宮城県知事賞

宮城県建築士事務所協会賛助会員会長賞 A3 西吉 莉澄



< 学校のホームページはこちらです >
<https://ishiko.myswan.ed.jp/>

(8) 気仙沼向洋高校<宮城丸 乗船実習>

情報海洋科海洋類型では、2年次に海洋総合実習船「宮城丸」で長期航海実習を行っています。乗船中は、24時間体制で航海当直を行い、乗組員や生徒の食事の準備や、学校と同じように船内で授業も行っています。六分儀という道具を使って太陽の高度を測定し、測定した場所の緯度や経度を計算で求めたり、まぐろ延縄漁実習を行っています。実習で獲れた魚の体長や体重測定、水揚げする際に使用するロープを魚に通す等作業をしています。今年度は、新型コロナウイルスの影響で実習期間中に港に入港することができませんでした。しかし、普段見ることができない南鳥島や硫黄島、孀婦岩などの近くを航行することができました。この乗船実習は、県内でも限られた学校でしか経験できない実習です。船上で集団生活を送りながら様々な実習を体験し、辛いことも仲間と共に乗り越え、実習を終えた時の計り知れない達成感や満足感は経験した人しか味わうことのできないものです。

向洋高校で宮城丸と一緒に乗船して、大海原を体験してみませんか？

< 学校のホームページはこちらです >
<https://kkouyo-h.myswan.ed.jp/>



(9) 東松島高校<秋の行事紹介>

(1) 東松祭

今年度は感染症予防のため規模を大幅に変更・縮小しました。そうした中、展示会場となった体育館では、子供のおもちゃに関するレポートなど、生徒が授業や部活動で取り組んだ各種成果が発表されました。また講堂には、全校生徒で制作に取り組んだ巨大なモザイク壁画が祭りに花を添えました。

さらに特別企画として校舎のあちらこちらに隠されたクイズを探し出し、制限時間内に全問正解を目指す「ひがまつダンジョン」が行われ、みんなで楽しみました。

(2) 芸術鑑賞会

劇団「東京演劇アンサンブル」をお迎えし、本校講堂で演劇『千年ユニコーン』を鑑賞しました。普段からよく見慣れた講堂ですが、この日は大掛かりな照明や音響が施された劇場に変身。幻想的な雰囲気の中、高校生2人を主人公としたストーリーを楽しみました。劇中には歌やダンスもちりばめられ、生徒からは「感動して泣いてしまいました」といった感想が寄せられました。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://higashi-matsushima.myswan.ed.jp/>

3 コラム

(1) 白石高校<四者連携協定で進む探究活動>

本校の授業のひとつ、探究活動は「地域的課題」「国際的課題」の二つの視点による課題の解決を目指し、地域を活性化するために特産品の宣伝、新メニュー開発、「白高ササフェス」などイベントを開催することや、SDGs を踏まえた貧困や平和、循環型社会、プラスチックゴミ、ジェンダーの問題を扱うなど様々です。仲間と協力し、継続した研究にするため、1・2年生が合同の縦割りグループで調査・研究します。その成果を校内外で様々な形式で発表し、なかには学会や東北マイプロジェクトアワードに出場する班もあります。今年度6月、宮城県中小企業家同友会、東北財務局、白石市と包括連携協定を結び、探究活動への講師派遣、研究連携、テーマの提供等をいただくなど、さらに探究活動の体制が整いました。AI やロボットには奪われない人間性や世界を観る眼、信念や表現力を養い、人と係わり、社会で確かに生き抜く力を身に付ける白石高校生です。中学生の皆さんも、本校の探究活動でいっしょに学んでみませんか？

< 学校のホームページはこちらです >
<https://hakko.myswan.ed.jp/>



HPアクセス用QRコード



4 お知らせ

(1) 県工業高校<技術をもった人材を育て、未来の創造のために>

本校は工業の各分野で活躍する技術者の育成を目的として、「もの（技術）づくり、ひと（人材）づくり、ゆめ（未来）づくり」をキャッチフレーズに教育活動を展開しています。各学科では、工業技術、特にものづくりへの興味・関心と将来の進路達成に向けた職業意識を高めることを目的に、企業や大学等の御協力を得ながら様々な取り組みを行っています。今年度はコロナ禍の影響で、例年行っていた工場見学、インターンシップ、出前授業の実施が計画の一部しかできない状況でした。

しかし、その中でも各学科が多くのことに取り組み、「令和2年度高校生ものづくりコンテスト」では、宮城県大会旋盤作業部門で優勝と3位入賞、令和2年度第20回高校生ものづくりコンテスト2020東北大会「旋盤作業部門」【秋田大会】では準優勝、電気工事部門宮城県大会は優勝、化学分析部門東北大会で2位に入賞となりました。また、機械科の生徒が第58回技能五輪大会「フライス盤」職種（14年ぶり）と情報技術科の生徒が「ウェブデザイン職種」に出場し、「ウェブデザイン職種」では銀賞を受賞しています。

加えて、もう一人の情報技術科の生徒が第46回技能五輪国際大会「業務用ITソフトウェア・ソリューションズ」職種日本代表選手選考会に出場し、第2位の成績を収めております。

昨年度の進路状況は就職7割、進学3割でした。今年度は就職が6割(県外は60名程度)、進学が4割と進学希望者が増加しました。就職・進学の両方でコロナ禍の影響があり、企業や大学に直接足を運ぶことは難しい状況もありました。しかしながら、生徒全員が今、自分自身ができることを考え実践することに努めました。



県内唯一のキュボラ溶解実習の様子
(機械科)



ものづくりコンテスト(電子機械科)



インターンシップ(電気科)



インターンシップ(電気科)



ものづくりコンテスト(化学工業科)



技能五輪全国大会出場(情報技術科)

< 学校のホームページはこちらです >
<https://miyagi-th.myswan.ed.jp/>

(2) 一迫商業高校

〈令和2年～4年度 文部科学省 地域との協働による高等学校教育改革推進事業

(高等学校における研究開発) アソシエイトに指定〉

〈プロフェッショナル型に指定〉

専門的な知識・技術を身に付け地域を支えるプロフェッショナルな職業人を育成するため、地域の産業界と連携・協働しながら地域課題の解決等に向けた探究的な学びを学校独自で設定できる学校設定教科・科目(本校では「企業実習」)の活用をとおして、体系的・系統的に学習するためのカリキュラム開発を目指します。

〈企業実習・起業家研究・販売実習の3本柱〉

企業実習は、20日～30日の長期の校外実習を通して職業人として必要とされる創造性や積極性・協調性等を身に付けます。

起業家研究は企業の課題を教材としてとらえ、最適な課題解決方法を生徒がチームで考え、提案することで課題解決能力を高める学習です。起業家の理念や経営方針を理解・研究し改善策を高校生の視点で提案します。

販売実習は生徒自らが仕入計画・販売計画・販売促進計画・経理まで責任を持って実施することで企業経営やマーケティング、ビジネスマナーを学びます。

この取組をとおして、職業について自分の興味・関心の持てるテーマを一迫商業高校の先輩方といっしょに探究してみませんか。



実習の様子



学習発表会の様子

〈学校のホームページはこちらです〉
<https://ichisho.myswan.ed.jp/>

